



鈴木総理 郷土入り 晴れやかな第一声

9月4日、首相就任以来、初の郷土入りをした鈴木内閣総理大臣は、行く先々で県民の盛大な歓迎を受けた。

盛岡駅前広場では、およそ5,000人の出迎えを前にして、歓迎の小旗が打ち振られる中でお立ち台から笑顔で「皆さん、ただいま帰って参りました」と郷土入り第一声。

この日の盛岡は、心配された雨もなくさわやかな秋風も流れ、盛岡市をはじめ県内各地から多くの歓迎客が集まり、2年1カ月ぶりの鈴木総理にとっては、まさに晴れやかな1日となった。

